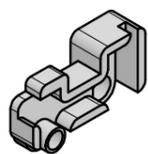
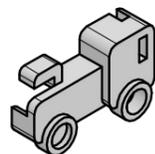


# 競技課題図

①



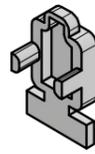
②



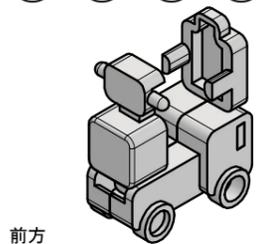
③



④



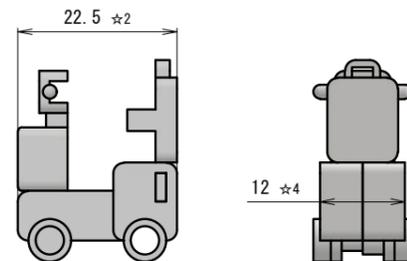
①+②+③+④



前方

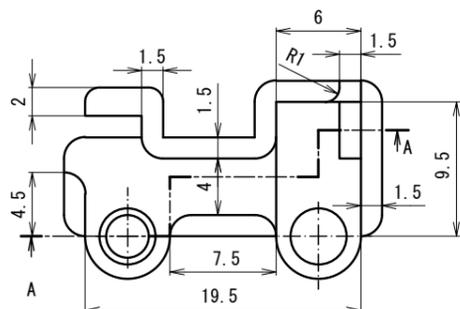
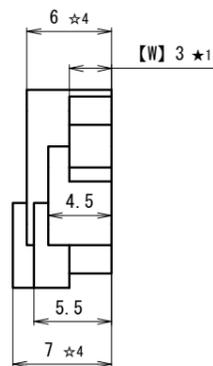
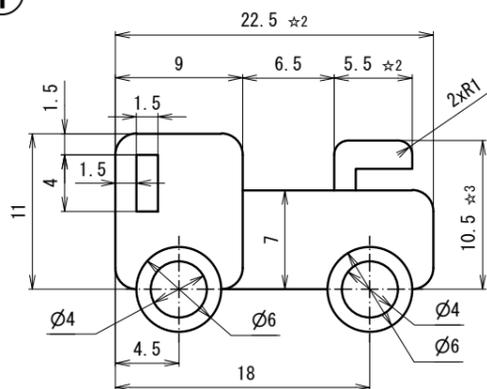
後方

組立て寸法

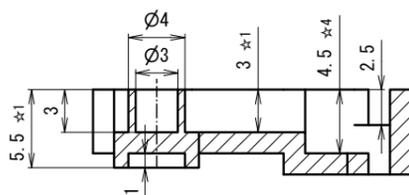


- ・製品の表面にカッターマークや擦り傷がないこと。
- ・製品の寸法公差は特に指示がない場合±0.03mmとする。
- ・製品部の指示の無い角部の丸みはR1.5とする。
- ・【W】の変更範囲は2.5~3.5とする。(0.1単位)
- ・【X】の変更範囲は5~6とする。(0.1単位)
- ・【Y】の変更範囲は6~7とする。(0.1単位)
- ・【Z】の変更範囲は11.5~12.5とする。(0.1単位)

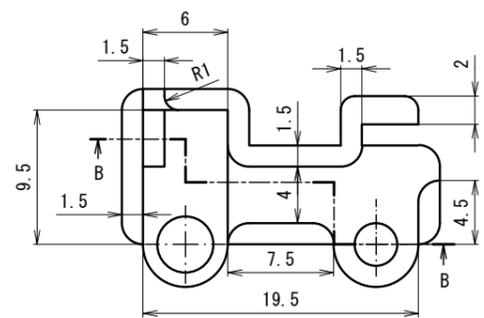
①



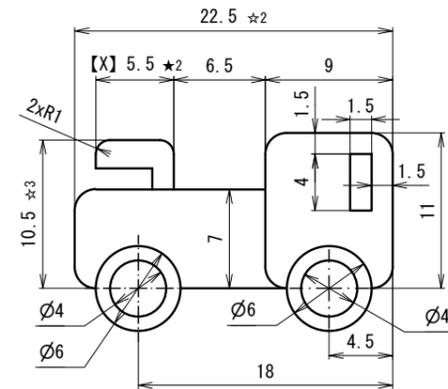
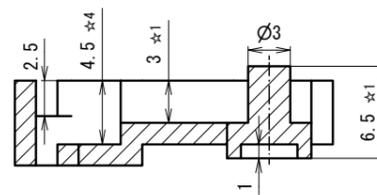
A-A (2:1)



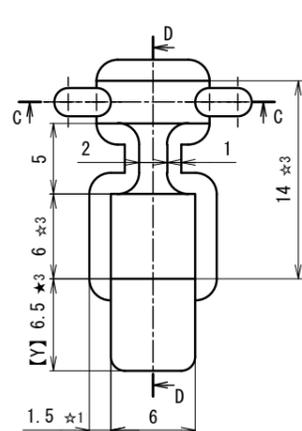
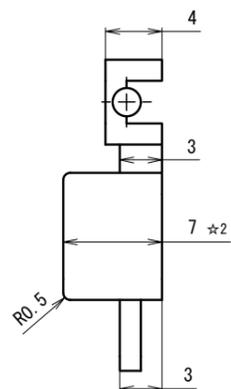
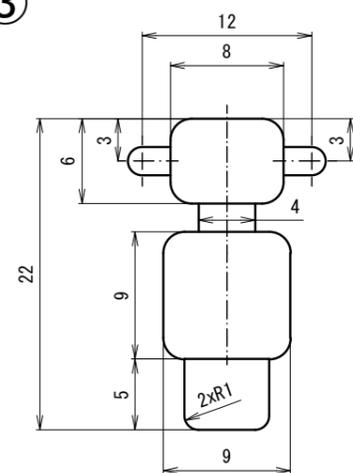
②



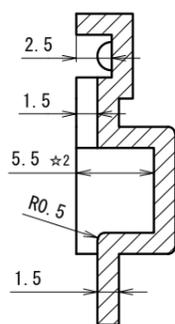
B-B (2:1)



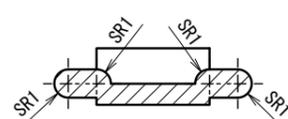
③



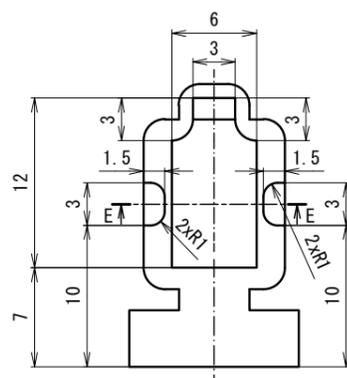
D-D (2:1)



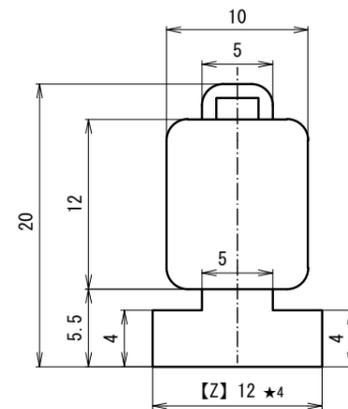
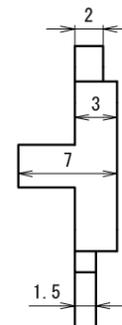
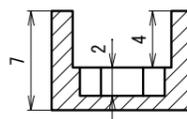
C-C (2:1)



④



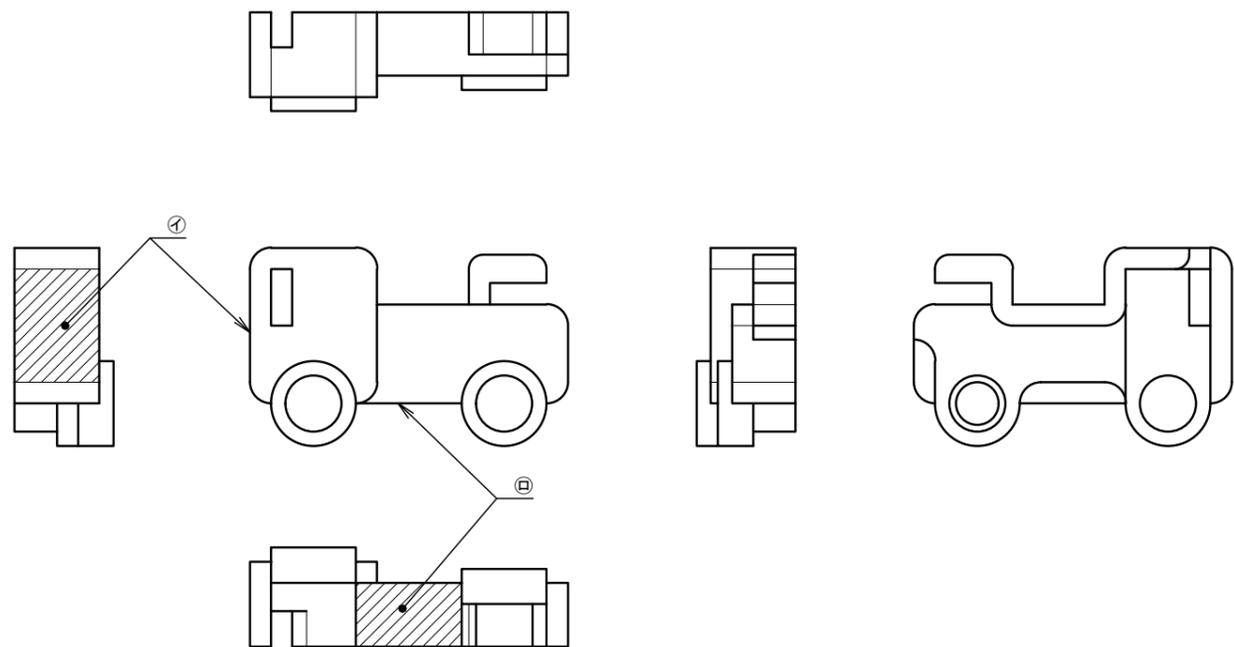
E-E (2:1)



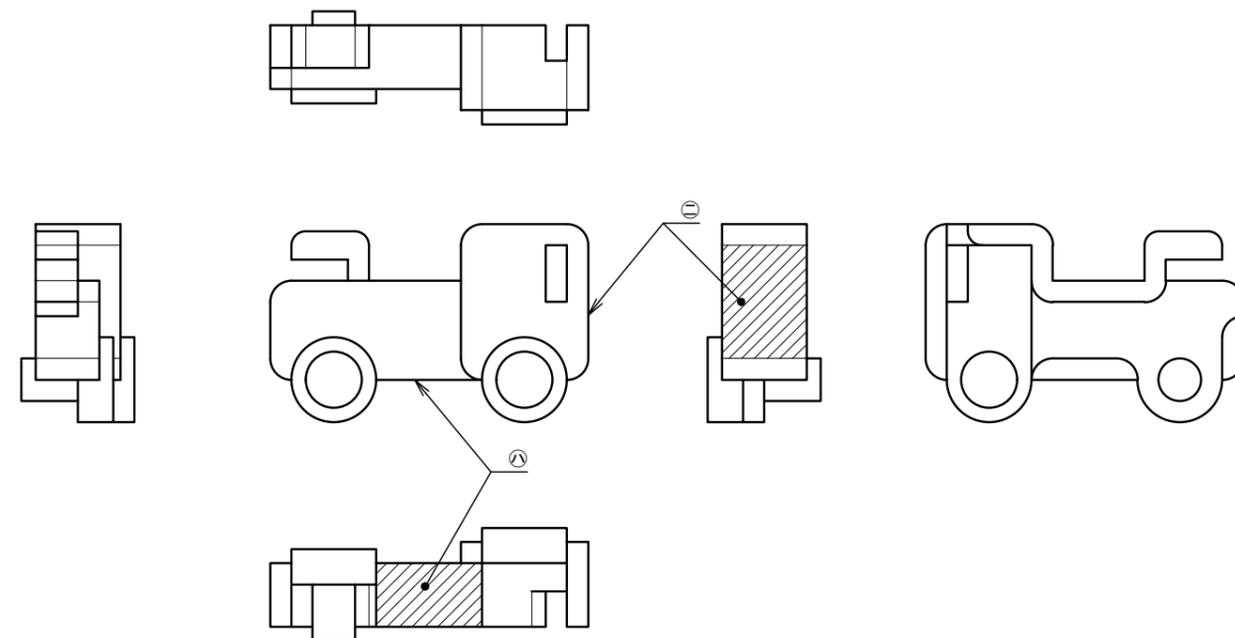
金型の名称	第63回技能五輪全国大会 プラスチック金型職種 競技課題		
製品の名称	パーソナルモビリティ D		
材質	ポリスチレン	収縮率	0.5%
			2:1 A3

# 部品の仕様

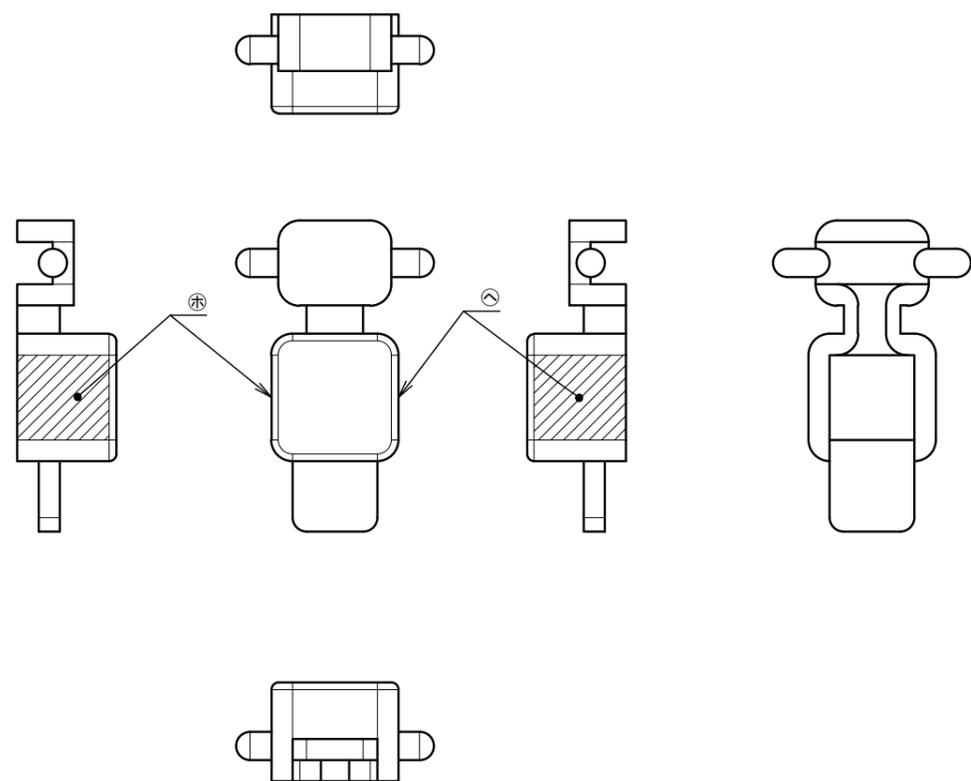
①



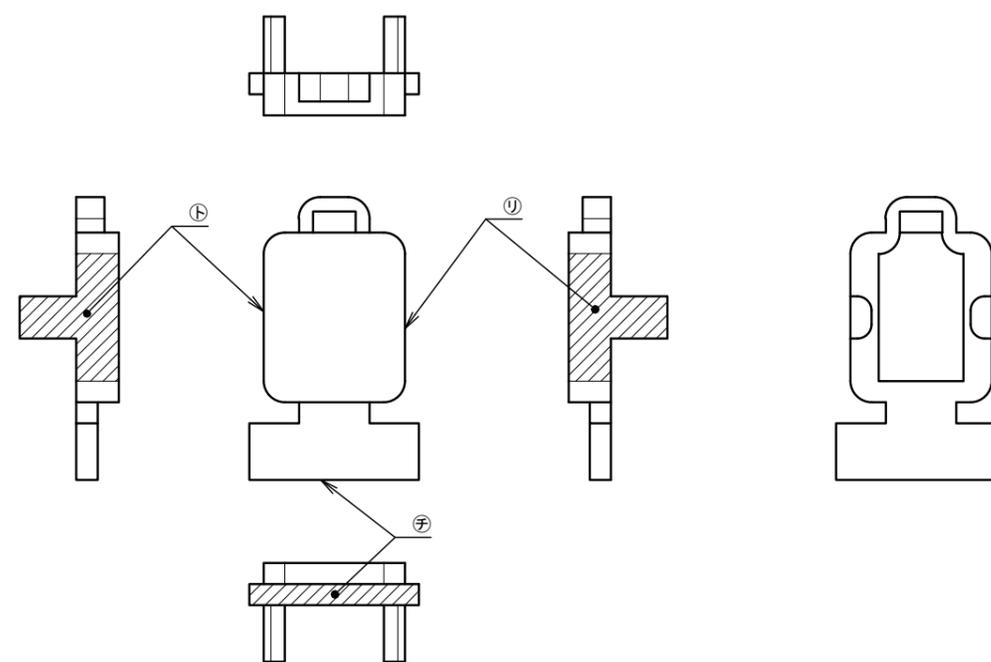
②



③



④

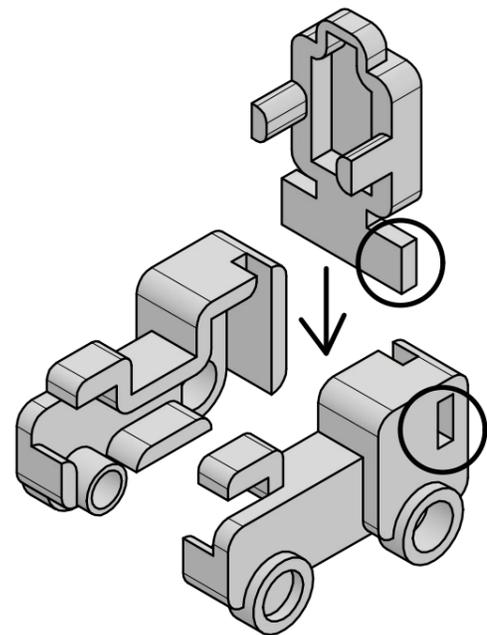


- ・ゲートは、部品①～④の①～④に示す面以外に設置してはならない。
- ・ゲートとは、製品の、部品図にある形状以外の形状すべてを指し、サイドゲート、タッチゲート、オーバーラップゲート、オーバーフロータブなどを含む。

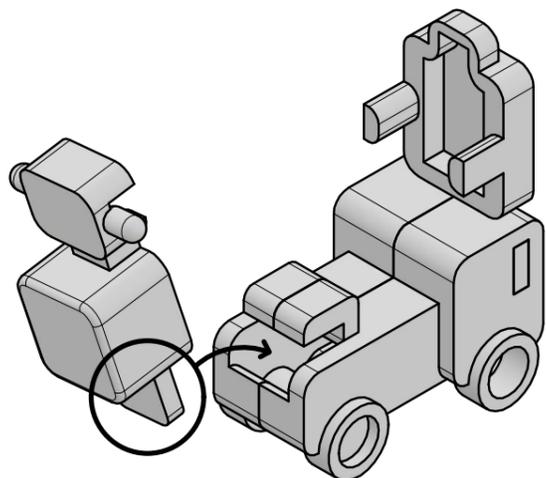
金型の名称	第63回技能五輪全国大会 プラスチック金型職種 競技課題		
製品の名称	パーソナルモビリティ D		
材質	ポリスチレン	収縮率	0.5%
			2:1 A3

# 課題の特徴（形状や組立機構の魅力、加工難易度）

## 形状や組立機構の魅力など



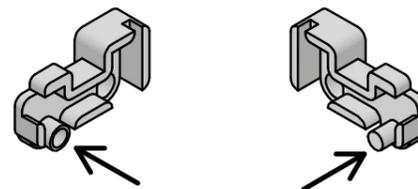
①、座席部分となるパーツ④を  
パーツ①、②で挟み込むように  
嵌め合わせる



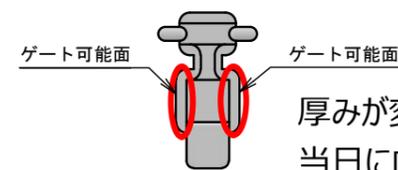
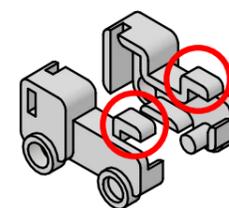
②、パーツ③の下の部分を入れ、  
パーツ①、②の爪の部分に  
引っ掛ける

## 加工難易度など

パーツ①、②についてはザグリ形状の嵌め合わせをつけることにより  
ミラー形状にならないようにしました。



【W】によりパーツ①、②の高さが反比例する形となっております。  
また、パーツ③の1.5mmが変更しますが、ゲート可能面を両方の側面に指示しております。



厚みが増えるため事前公開で判明しても  
当日に向けて対策が必要かと思えます

年々磨きのレベルが向上しているため、ザグリ形状の磨きなどの比較的磨くのが難しい形状を  
用いることで外観採点時に差が生まれるのではないかと思います。

変更点により組み立てた製品の外観に違和感が生じないように連動しております。

押切や製品組み立てのための寸法調整が必要な課題となっております。

斜辺加工はありませんが、加工ボリューム、四角の数がほかの課題に比べて多いため  
例年の課題と比べても難易度を高めに設定できているかと思えます。

また、ゲート可能面を変更点でヒケが発生するおそれのある所にする事で  
当日の対応力も見る事が出来るかと思えます。

